

島根の多彩な医師の働き方
キャリアを支援します！

えんネット

SUPPORT MAGAZINE 2024 NO. 11



発行：島根大学医学部地域医療支援学講座
島根県・しまね地域医療支援センターから財政支援を受けています。

Special Discussion

チームワークを発揮して地域医療を守る

浜田医療センター

イベントなど“えんネット”の取り組み紹介

●ドクターキャリア形成特別講義

医学生のうちから、ワークライフバランス・キャリア形成について考えることを目的に平成26年度から臨床実習入門として男女共同参画講義を行っています。
広島大学医学部附属医学教育センター教授 蓮沼直子先生をお招きし、医学部4年生を対象に行っています。地域医療支援学講座は、学生たちがキャリアを大切に働き続けるために、「えんネット」の取り組みや支援内容についても周知します。

●ワークライフバランスセミナー

令和5年度は、株式会社ジョコネ。代表取締役の北奈央子先生にお話しいただきました。

●えんネット交流会

年2回、女性医師や学生が集まり、働き方などについて楽しく話し合っています。

●復職支援

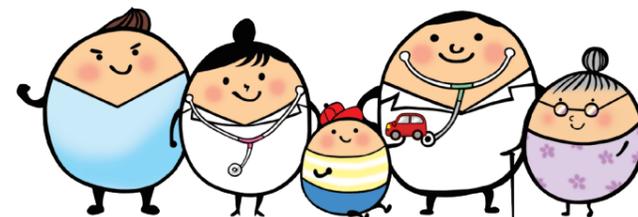
ライフイベント、退職後の相談も受け付けています。



えんネット交流会

えんネット

えんネットではキャリア支援から託児付きセミナーの開催、学生教育までさまざまな支援を積極的に行っています。



キャリア支援 両立支援

- 相談窓口
- 就労環境改善の取り組み
- 託児付きセミナー
- 交流会 など

育児・介護支援 情報提供

- 県内病院就労支援
- 県内自治体保育支援
- 支援情報へのリンク

学生教育

- キャリアモデル実習
- キャリア教育
- キャリアセミナー

<https://www.en-net.jp/>

えんネット

検索

連携団体

- しまね地域医療支援センター
- 島根県 赤ひげバンク
- 島根県医師会
- 島根大学 ダイバーシティ推進室
- 島根大学医学部附属病院
ワークライフバランス支援室

えんネット 島根大学医学部地域医療支援学講座内

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
TEL & FAX : 0853-20-2396 E-mail : en-net@med.shimane-u.ac.jp



発行 / えんネット
2024年11月



浜田医療センター



“チームワークを発揮して地域医療を守る”

今回取材したのは島根県西部にある浜田医療センター。浜田圏域における中核病院として、急性期から回復期、慢性期、緩和ケアまで、つなぎ目のない医療を提供しています。症例数が豊富で、研修医からも人気の病院。診療科の垣根を越えた連携で、患者さんを中心とした一体感のあるチームワークが魅力です。高齢化が進む地域での診療の特徴や、子育てと両立しながら働く環境など、6人の先生たちに話をお聞きしました！

座談会のファシリテーター



えんネット
MAGAZINE 2024

堀田：今日は浜田医療センターで働く医師の皆さんにお集まりいただきまして。まず病院の特徴について教えてくださいいただけますか。

栗栖：当院は2次医療圏の拠点病院として、三次救急から回復期、緩和ケアまでトータルで診られることが強みです。急性期から看取りまで、患者さんの状態に合わせてあらゆる段階に対応しています。

堀田：地域には他に大きな病院がないので、果たす役割は大きいのではないのでしょうか。

栗栖：そうですね。救急の搬送件数も年々増えています。全ての専門家が揃っているわけではありませんが、診療科が幅広くそろっていますので、できるだけここで患者さんを診られるようにしたいと思っています。

堀田：栗栖院長は浜田医療センターに赴任されて20年以上になるそうですね。この地域ならではの診療はありますか？

栗栖：海に近いこともあって、夏は釣り針によるケガが多い

急性期から看取りまで地域を支える基幹病院

です。また、年に数例ですが、溺水などの海難事故による救急搬送もあります。これは他の病院でも同じだと思いますが、やはり高齢者の疾患は増えています。

江田：たしかに高齢者を診る機会は多いですね。麻酔科医として赴任して驚いたのが、90歳以上の方の手術を担当する機会が多くあること。もちろん年齢にかかわらず、手術ができるかと判断されたから行うのですが、時には100歳を超え

る方の手術をすることもあります。畑仕事をされている方も多くて、皆さんお元気なんですよね。最近では90歳以上の手術でもあまり驚かなくなりました(笑)。

栗栖：初夏から秋にかけては、マムシに噛まれて来る患者さんも多い。自然が豊かな島根県ならではの、あるですね。

堀田：浜田医療センターは研修医にも人気がありますよね。松田先生と猪木迫先生は、こちらで初期研修を

島根大学医学部
地域医療支援学講座 特任助教

家本 美佳
いえもと みか

島根大学医学部附属病院の臨床看護師として40年間勤務。2024年4月から地域医療支援学講座特任助教に就任。

島根大学医学部
地域医療支援学講座 教授

佐野 千晶
さの ちあき

1994年島根医科大学卒業、微生物学などを経て現職。2児の母。「えんネット」相談窓口を担当。

島根大学医学部
地域医療支援学講座 助教

堀田 優希江
ほった ゆきえ

2009年島根大学医学部卒業、島根大学の耳鼻咽喉科での勤務を経て2020年から現職。3児の母。「えんネット」相談窓口を担当。ワークライフバランスに関する調査研究、復職支援、女性医師支援などを行う。

受けられたと聞きました。

松田：研修先を決めるときに「屋根瓦形式で丁寧に教えてもらえる」「実践的な研修を受けられる」と前評判があつて。見学に来てみたら本当にその通りだったので、ここで研修したいなど。とても楽しい研修だった思い出があります。

診療科の垣根を越えて チーム一体感がある診療

猪木迫：初期研修を受けたときにも感じたのですが、診療科の垣根が低いところが魅力ですよ。全科の医局が一つの部屋にまとまっているので、他科の先生たちに「今ちょっといいですか？」と、その場で気軽に質問ができます。大きな病院だと、誰に質問すればいいのかわからなかったり、紹介状だけのやり取りになったりすることもありますが、ここでは立ち話ですぐに対応していただけることも。ちょっとした会話から、こちらが伝えたいニュアンスまでくみ取ってもらえるので助かっています。

堀田：具体的には他科の先生方どのように連携をとっていますか？

猪木迫：整形外科ではご高齢の患者さんの手術が多いので、術前・術後の管理について相談しています。術後の血糖コントロールを内科の先生

青木：小児科でも他科の先生に相談することがありますが、医局で話しかけると、どの先生も親身になって相談に乗ってくださいます。

川野：医師以外のスタッフさんたちもすごく優しいですよ。小児科は医師2人体制なので、自分で対応しなければならぬことが多かったり、救急の待機があつたりとハードな部分もあるのですが、周りのスタッフさんたちがサポートしてくれるので、楽しく働かせてもらっています。

青木：川野先生は県内の病院を回られていたので、島根のことをよく存じですよ。私もいろいろ教えてもらっています。

川野：島根大学の小児科の先生方とはつながりがあるので、分からないことがあれば気軽に相談できます。地域の病院に勤務していても、専門

栗栖：限られた時間の中で、しっかりと診療を支えてくれています。

江田：時には子どもが体調を崩して急にお休みをいただくこともあるのですが、上司の先生は「お大事にしてください」の一言で快く引き受けてくださるので、とてもありがたいですね。

堀田：医師の働きやすい環境づくりのために、病院としてはどのような取り組みをしていますか？

栗栖：例えば院内保育では、希望があれば夜間保育にも対応できるようにしています。ワークライフバランスを大事にしながら、なるべくスタッフの希望に沿って、働きやすい環境を整えていきたいと考えています。

もちろん診療科によって医師の人数が違うので、全てに配慮することは難しいのですが、それでもできるだけ声を聞いていきたいですね。

堀田：皆さん、オフのときはどんな過ごし方をされていますか？

猪木迫：家族で出かけることが多いですね。浜田は海も山も近いので、レジャーが充実しているんです。

青木：水族館の「アクアス」は有名ですよ。その隣にある「アクアスランド」という公園は最近新しくなっ

たばかりで、子どもたちが楽しめるようにすることもありますし、ほかにも心臓や肺、腎機能が低下したときに、それぞれ専門の先生に診ていただくことも。

松田：総合診療科でも、他科の先生方と連携する場面はよくあります。こちらからご相談したら、状態が落ち着くまで一緒に診てもらえるので、本当にありがたいです。

青木：小児科でも他科の先生に相談することがありますが、医局で話しかけると、どの先生も親身になって相談に乗ってくださいます。

川野：医師以外のスタッフさんたちもすごく優しいですよ。小児科は医師2人体制なので、自分で対応しなければならぬことが多かったり、救急の待機があつたりとハードな部分もあるのですが、周りのスタッフさんたちがサポートしてくれるので、楽しく働かせてもらっています。

青木：川野先生は県内の病院を回られていたので、島根のことをよく存じですよ。私もいろいろ教えてもらっています。

川野：島根大学の小児科の先生方とはつながりがあるので、分からないことがあれば気軽に相談できます。地域の病院に勤務していても、専門

栗栖：限られた時間の中で、しっかりと診療を支えてくれています。

江田：時には子どもが体調を崩して急にお休みをいただくこともあるのですが、上司の先生は「お大事にしてください」の一言で快く引き受けてくださるので、とてもありがたいですね。

堀田：具体的には他科の先生方どのように連携をとっていますか？

猪木迫：整形外科ではご高齢の患者さんの手術が多いので、術前・術後の管理について相談しています。術後の血糖コントロールを内科の先生

青木：小児科でも他科の先生に相談することがありますが、医局で話しかけると、どの先生も親身になって相談に乗ってくださいます。

川野：医師以外のスタッフさんたちもすごく優しいですよ。小児科は医師2人体制なので、自分で対応しなければならぬことが多かったり、救急の待機があつたりとハードな部分もあるのですが、周りのスタッフさんたちがサポートしてくれるので、楽しく働かせてもらっています。

医療についてすぐに聞ける安心感があります。

堀田：他科との連携の話でいうと、麻酔科の江田先生は、緊急手術を依頼されることも多いのでは？

江田：そうですね。各科の連携が取れているので、緊急のオペが入れやすいと思います。手術室の隣に麻酔科室があるのですが、そこで作業をしていると外科系の先生が直接来られて、「午後から緊急手術を一件入れてもらえませんか？」と聞かれることも。自分でも救急外来のカルテをチェックし、「腹痛の患者さんが来ているな」とか「骨折の患者さんは手術かもしれない」と、頭に入れないながら準備しておくことがあります。

猪木迫：麻酔科の先生にはいつも快く対応していただいています。ありがとうございます！

堀田：子育て環境についてはいかがですか？

猪木迫：私は2人の子供がいますが、整形外科は6人体制なので、チームで協力しながら診療できています。私以外にも子育て中の先生がいらっしやるので、理解があつて働きやす

青木：浜田は、人口比に対して小児科の開業医院が多く、commonな疾患を診てくださっています。その分、当院には中等症以上の患者さんがご紹介されてくるので、日々の診療でかなり鍛えられていると感じます。島根大学の先生方にWebカンファレンス

を開いてもらったり、外勤の先生が来られたときに相談させてもらったりと、スキルアップに取り組んでいます。

松田：ここではこれまで診たことがなかったような症例を経験させてもらっています。私はもともと神経内科を学び、今は総合診療科を担当しているのですが、総合診療科については上級の先生に教えてもらいながら、一方で神経系の症例でお困りのときには私が診させていただくこともあります。

江田：一昨年、麻酔科の専門医試験を受けたのですが、すべて当院での経験を元に発表し、準備をしました。無事に合格できたのは、病棟のバックアップがあつたおかげです。

川野：今は専攻医として研修中ですが、小児の外来の合間に

医療についてすぐに聞ける安心感があります。

堀田：他科との連携の話でいうと、麻酔科の江田先生は、緊急手術を依頼されることも多いのでは？

江田：そうですね。各科の連携が取れているので、緊急のオペが入れやすいと思います。手術室の隣に麻酔科室があるのですが、そこで作業をしていると外科系の先生が直接来られて、「午後から緊急手術を一件入れてもらえませんか？」と聞かれることも。自分でも救急外来のカルテをチェックし、「腹痛の患者さんが来ているな」とか「骨折の患者さんは手術かもしれない」と、頭に入れないながら準備しておくことがあります。

猪木迫：麻酔科の先生にはいつも快く対応していただいています。ありがとうございます！

堀田：子育て環境についてはいかがですか？

猪木迫：私は2人の子供がいますが、整形外科は6人体制なので、チームで協力しながら診療できています。私以外にも子育て中の先生がいらっしやるので、理解があつて働きやす

青木：浜田は、人口比に対して小児科の開業医院が多く、commonな疾患を診てくださっています。その分、当院には中等症以上の患者さんがご紹介されてくるので、日々の診療でかなり鍛えられていると感じます。島根大学の先生方にWebカンファレンス

を開いてもらったり、外勤の先生が来られたときに相談させてもらったりと、スキルアップに取り組んでいます。

松田：ここではこれまで診たことがなかったような症例を経験させてもらっています。私はもともと神経内科を学び、今は総合診療科を担当しているのですが、総合診療科については上級の先生に教えてもらいながら、一方で神経系の症例でお困りのときには私が診させていただくこともあります。

江田：一昨年、麻酔科の専門医試験を受けたのですが、すべて当院での経験を元に発表し、準備をしました。無事に合格できたのは、病棟のバックアップがあつたおかげです。

川野：今は専攻医として研修中ですが、小児の外来の合間に

医療についてすぐに聞ける安心感があります。

堀田：他科との連携の話でいうと、麻酔科の江田先生は、緊急手術を依頼されることも多いのでは？

江田：そうですね。各科の連携が取れているので、緊急のオペが入れやすいと思います。手術室の隣に麻酔科室があるのですが、そこで作業をしていると外科系の先生が直接来られて、「午後から緊急手術を一件入れてもらえませんか？」と聞かれることも。自分でも救急外来のカルテをチェックし、「腹痛の患者さんが来ているな」とか「骨折の患者さんは手術かもしれない」と、頭に入れないながら準備しておくことがあります。

豊富な症例で経験を積む スキルアップできる環境

青木：浜田は、人口比に対して小児科の開業医院が多く、commonな疾患を診てくださっています。その分、当院には中等症以上の患者さんがご紹介されてくるので、日々の診療でかなり鍛えられていると感じます。島根大学の先生方にWebカンファレンス

を開いてもらったり、外勤の先生が来られたときに相談させてもらったりと、スキルアップに取り組んでいます。

松田：ここではこれまで診たことがなかったような症例を経験させてもらっています。私はもともと神経内科を学び、今は総合診療科を担当しているのですが、総合診療科については上級の先生に教えてもらいながら、一方で神経系の症例でお困りのときには私が診させていただくこともあります。

江田：一昨年、麻酔科の専門医試験を受けたのですが、すべて当院での経験を元に発表し、準備をしました。無事に合格できたのは、病棟のバックアップがあつたおかげです。

川野：今は専攻医として研修中ですが、小児の外来の合間に

医療についてすぐに聞ける安心感があります。

堀田：他科との連携の話でいうと、麻酔科の江田先生は、緊急手術を依頼されることも多いのでは？

江田：そうですね。各科の連携が取れているので、緊急のオペが入れやすいと思います。手術室の隣に麻酔科室があるのですが、そこで作業をしていると外科系の先生が直接来られて、「午後から緊急手術を一件入れてもらえませんか？」と聞かれることも。自分でも救急外来のカルテをチェックし、「腹痛の患者さんが来ているな」とか「骨折の患者さんは手術かもしれない」と、頭に入れないながら準備しておくことがあります。

猪木迫：麻酔科の先生にはいつも快く対応していただいています。ありがとうございます！

堀田：子育て環境についてはいかがですか？

時短勤務や院内保育で 子育て中の医師をサポート

江田：私は時短勤務をしています。3年前に帰ってききました。

青木：はい。実家の近くで子育てをしたいなど思っていて、3年前に帰ってききました。

松田：私は時短勤務をしていて、早く帰れる日には子どもを習い事に送って行きます。土日もお休みをいただいているので、家族と過ごす時間は十分に持っています。ここで働く先生たちとは子ども同士も仲が良く、お互いに子育ての話がしやすいですね。

江田：私も今は時短勤務で週4日、15時までのシフトです。勤務時間は状況に合わせてフレキシブルに対応してもらっています。夜間休日の待機も免除していただいているので、申し訳ないなという気持ちもありますが、その分、勤務できる日中は他の先生の分までがんばろうと思っています。

青木：私も今は時短勤務で週4日、15時までのシフトです。勤務時間は状況に合わせてフレキシブルに対応してもらっています。夜間休日の待機も免除していただいているので、申し訳ないなという気持ちもありますが、その分、勤務できる日中は他の先生の分までがんばろうと思っています。

堀田：最後に今後の目標を教えてください。

猪木迫：地域の方たちを支える病院として、ここでできるだけのことをしていきたいと思っています。浜田は私の地元なので、地元の患者さんたちを治療できるのが喜びでもあります。手術をした患者さんが元気になって、また畑仕事などができるようになる。その姿を見ると、すごく嬉しいですね。

江田：最後に今後の目標を教えてください。

猪木迫：地域の方たちを支える病院として、ここでできるだけのことをしていきたいと思っています。浜田は私の地元なので、地元の患者さんたちを治療できるのが喜びでもあります。手術をした患者さんが元気になって、また畑仕事などができるようになる。その姿を見ると、すごく嬉しいですね。

松田：最後に今後の目標を教えてください。

猪木迫：地域の方たちを支える病院として、ここでできるだけのことをしていきたいと思っています。浜田は私の地元なので、地元の患者さんたちを治療できるのが喜びでもあります。手術をした患者さんが元気になって、また畑仕事などができるようになる。その姿を見ると、すごく嬉しいですね。

江田：最後に今後の目標を教えてください。

猪木迫：地域の方たちを支える病院として、ここでできるだけのことをしていきたいと思っています。浜田は私の地元なので、地元の患者さんたちを治療できるのが喜びでもあります。手術をした患者さんが元気になって、また畑仕事などができるようになる。その姿を見ると、すごく嬉しいですね。

松田：最後に今後の目標を教えてください。

猪木迫：地域の方たちを支える病院として、ここでできるだけのことをしていきたいと思っています。浜田は私の地元なので、地元の患者さんたちを治療できるのが喜びでもあります。手術をした患者さんが元気になって、また畑仕事などができるようになる。その姿を見ると、すごく嬉しいですね。

江田：最後に今後の目標を教えてください。

猪木迫：地域の方たちを支える病院として、ここでできるだけのことをしていきたいと思っています。浜田は私の地元なので、地元の患者さんたちを治療できるのが喜びでもあります。手術をした患者さんが元気になって、また畑仕事などができるようになる。その姿を見ると、すごく嬉しいですね。

地域の病院で長く働く 医師としてのやりがい

青木：院内保育があるのも嬉しいですよ。病棟のすぐ隣に併設されているので、すぐに様子を見に行けます。医師だけでなく、病院で働くスタッフはみんな利用できます。

堀田：青木先生は育児をきつかけに、地元の浜田に戻って来られたそうですね。

青木：はい。実家の近くで子育てをしたいなど思っていて、3年前に帰ってききました。

松田：私は時短勤務をしていて、早く帰れる日には子どもを習い事に送って行きます。土日もお休みをいただいているので、家族と過ごす時間は十分に持っています。ここで働く先生たちとは子ども同士も仲が良く、お互いに子育ての話がしやすいですね。



外科 院長
栗栖 泰郎 先生
くりす やすろう
横浜市立大学(1988年卒)



整形外科
猪木迫 彩香 先生
いのきざこ あやか
島根大学(2016年卒)



小児科
青木 萌子 先生
あおき もえこ
鹿児島大学(2016年卒)



総合診療科
松田 花子 先生
まつだ はなこ
島根大学(2011年卒)



麻酔科
江田 佐江子 先生
えだ さえこ
山形大学(2011年卒)



小児科
川野 早紀子 先生
かわの さきこ
島根大学(2019年卒)

住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田



石見畳ヶ浦 浜田城跡
道ノ駅 ゆうひパーク浜田
しまね海洋館アクアス
浜田港でその日水揚げされる鮮魚を使った数量限定の「朝どれ海鮮丼」

浜田市

日本海に面した、北部の漁業と、中国山地の連なる南部の山間部を有する島根県浜田市は、自然豊かな景勝地など見所がいっぱいです。

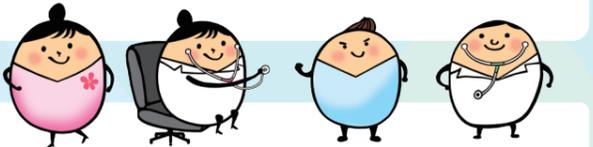


一般社団法人 浜田市観光協会 <https://kankou-hamada.or.jp>



えん ネット について

しまね地域医療支援センターの委託を受け、平成26年度より、島根大学医学部地域医療支援学講座内に両立支援のための相談窓口『えんネット』が設立されました。出産・育児・介護などのライフイベントで働き方に悩みを抱えている方々がキャリアを継続できるよう支援いたします。また、「働き続けたい」という意識を育てるために、学生時代からのキャリア教育や、すべての医師の働きやすい職場をめざした、就労環境支援、託児などに考慮した両立支援を行っていきます。



相談窓口

えんネットでは、現在の働き方に悩みを抱える方のための相談窓口を設置しています。個々に応じた復職への相談も受け付けています。専門科に応じた対応が必要な場合は、支援担当員としてご協力いただく、専門科の先生に相談することも可能です。また、復職相談については学内外と連携をとりながら、段階的な支援を行っています。加えて、女子学生の女性特有の相談に対しても、女性スタッフが対応しています。どんなことでもお気軽に相談してください。

セミナーなどに託児をつけます

子育て中の医師も学びやすいよう、セミナーなどに託児をつける支援を行っています。また、島根大学医学部附属病院 クリニカルスキルアップセンターにて、シミュレーショントレーニングの託児付受講もできます。



医師密着型実習

医師密着型実習とは、島根でがんばる医師のもとで実習を行い、自分の将来像を探すことを目的にした実習です。実習では、医師の一日の始まりから終わりまで密着し、仕事以外の保育園の送迎や家事などの生活場面についても見学させていただきます。参加した学生さんからは「先生の結婚・出産の頃のお話も伺い、やりたいことをあきらめずに継続されている強さに自分も勇気ができました」といった意見がありました。



松田：私も今、すごく働きやすいので、ここで長く働き続けられたらと思っています。総合診療科はいろいろな症例が経験できるので、学生さんで興味がある方はぜひ見学に来てください。

江田：当院には合併症のある高齢

患者さんがたくさん来られるため、その方たちにも同じように痛みや苦痛のない手術を受けてもらえるようにするのが、麻酔科医としての目標です。高齢の方は、元気な方よりも気を配らなければならない場面が多いので、一つひとつの症例

をより丁寧に診ていきたいと思っています。

川野：今年、専門医試験を受ける予定なので、まずはそこを目指して頑張っています。ここは診療科がそろっているため、各分野をローテーションしながら専門的な知識を勉強できるのが魅力です。患者さんに近いところで、実際に手を動かしながら学びたいと思っている人にはぜひお勧めしたいです。

栗栖：研修医の希望に合わせて、柔軟にプログラムを組めるのも人気の理由の一つだと思います。私はここで20年以上働いていますが、改めて長く患者さんを診ていくことの良さを実感しています。自分ががんの手術をした患者さんが、再発せずに無事にすごしていらつしやるのを見ると、お役に立てたのだなと嬉しいですよ。

堀田：それだけ地域の方たちからも必要とされているということですね。今回、先生方のお話を伺って、診療科の垣根を越えたチームワークの良さを感じました。若い先生方も多く、たくさん症例を経験しながらパワフルに働かれていますのを見て、私も元気をもらいました。今日はありがとうございました！

浜田医療センター

HOSPITAL DATA



島 根県浜田市にある浜田医療センター。27の診療科と365床の病床を有し、地域の基幹病院として頼られる存在です。「医療を通じて“地域で生きる”を支援する」を理念に、地域住民が安心して暮らしていけるように、病院としての機能を存分に発揮しながらスタッフ一丸となって診療にあたっています。

■ 院長メッセージ

浜田医療センターは、浜田医療圏における急性期医療の要としての役割を果たしています。この使命を果たすため、私たちは職員一人ひとりの能力を維持・向上させ、医療資源や人材の適正化、そして経営の健全化に取り組んでいます。また、病院としての責務を全うするには、職員がやりがいを感じ、心身の健康を保つことが重要です。そのために努力していきます。



院長 栗栖 泰郎

独立行政法人 国立病院機構
浜田医療センター
〒697-8511 島根県浜田市浅井町777番地12
TEL 0855-25-0505(代) FAX 0855-28-7070
<https://hamada.hosp.go.jp/>

